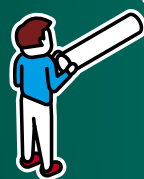




塾生
注目!



経験を探しに行こう



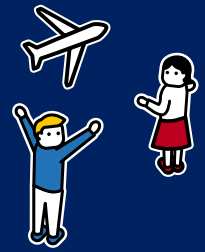
第二の母校は どこにする?



留学のススめ

留学経験が、あなたの視野と可能性を広げてくれます！

留学を経験した多くの先輩が、留学によって人生観が変わったと感じています。
自分には関係ないと思わず、ぜひ選択肢として検討してみてください。



留学に関する情報を収集する

何から始めたらいいかわからない、という塾生は、まずは各キャンパスの国際担当窓口に立ち寄ってみましょう。随時、留学相談に乗っています。さらに、国際センターのWebサイトでは各種留学体験談・報告書の他、海外留学のための奨学金についても掲載しています。

国際センターWebサイト

<https://www.ic.keio.ac.jp/>

海外留学のための奨学金

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/scholarship/

留学に向けて勉強する

参加したい留学の募集要項を確認し、十分に準備をしましょう。半年以上の長期留学では、大学の学業成績（GPA等）や語学能力の基準が課されることがほとんどです。年に数回しか実施しない語学能力試験もあります。早めに受験計画を立て、日々の学習も継続していきましょう。

留学生生活を満喫しよう！

「留学期間はあっという間だった!」とほとんどの留学経験者が語ります。健康に留意して、日々の学習や活動に取り組みましょう。留学中、自分が留学した目的を意識しながら過ごすことが大切です。自分なりのストレス対策も考えましょう！

留学生生活を振り返ってみよう！

留学の目的や目標は達成できたか、留学経験を就職や今後のキャリアにどうつなげたいのかまとめてみましょう。振り返ることで留学経験が今後の人生の中で一層活かせることでしょう。報告書の作成や留学の経験を後輩に伝えるのもおすすめです。

留学を意識した大学生活のプランを作成する

まずは大学生活の計画を立てましょう。授業履修、課外活動、資格取得、卒業後の進路設計をする中で、留学をいつ、どう組み込むか、優先順位を考えながらプランを組んでみましょう。

動機・目的を明確にする

【Why?】
なぜ留学?どんな勉強をしたい?
何を身につけたい?

【How?】
交換留学?ダブルディグリー?
私費留学?語学研修?

【When?】
学部1年時のうちにまずは短期?
学部2年時以降に長期?

【How much?】
学費以外の生活費は?
奨学金はいつ応募する?

【Where?】
どの国・地域・大学に
留学したい?

プログラムに応募し、選考を受ける

必要書類一式をしっかりと整えて期日までに出席しましょう。選考方法は、プログラムによりさまざまです。派遣交換留学等、留学開始約1年前に学内選考が実施されるものもあります。奨学金に応募予定の方は、その締切期限にも注意して手続きを進めましょう。

具体的な渡航準備をする

選考に通過すると、出発に向けて具体的な準備が始まります。代表的なものとして、以下があります。先着順のものや時間がかかるものもあります。早め早めの行動が大切です。

- 学内手続き - 住居手配(寮、アパート、ホームステイ等)
- ビザ申請 - 航空券手配 - 海外旅行保険加入

入学
START!

留学したい!
と思ったら

STEP
1

STEP
2

STEP
3

留学出発
約1年前

STEP
4

留学出発
約1年前~

STEP
5

留学出発
約6か月前~

STEP
6

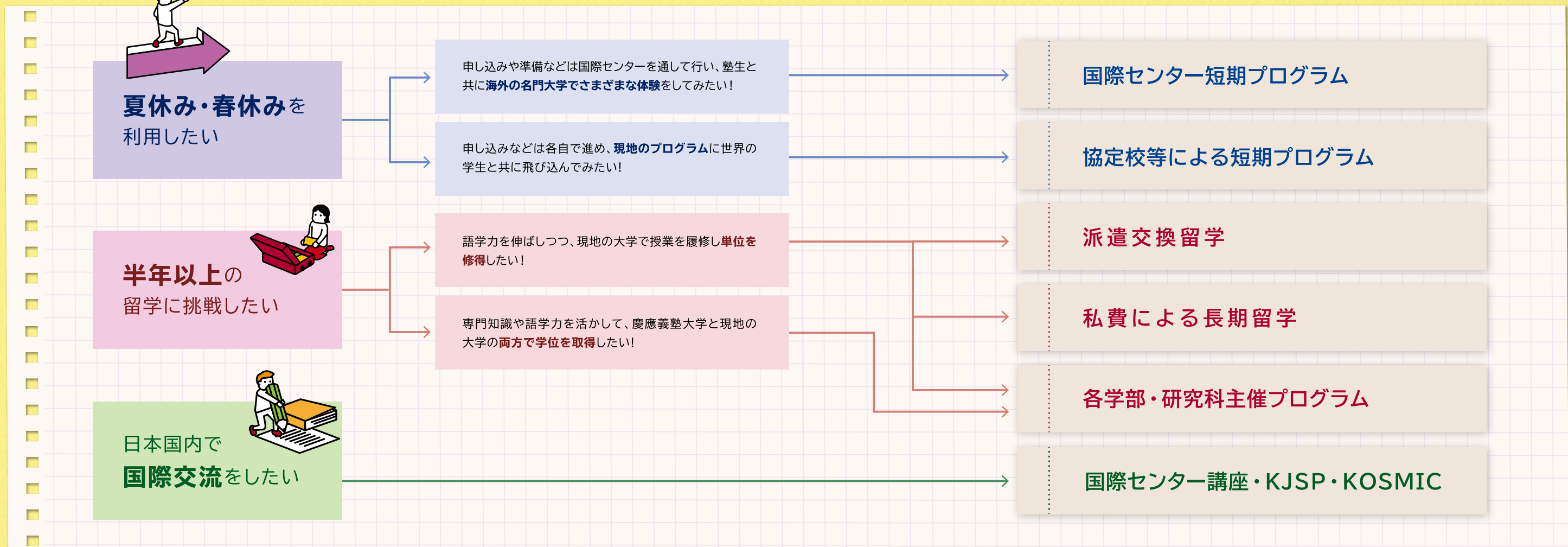
STEP
7

STEP
8

帰国
進路選択・就職に
向けた取り組み

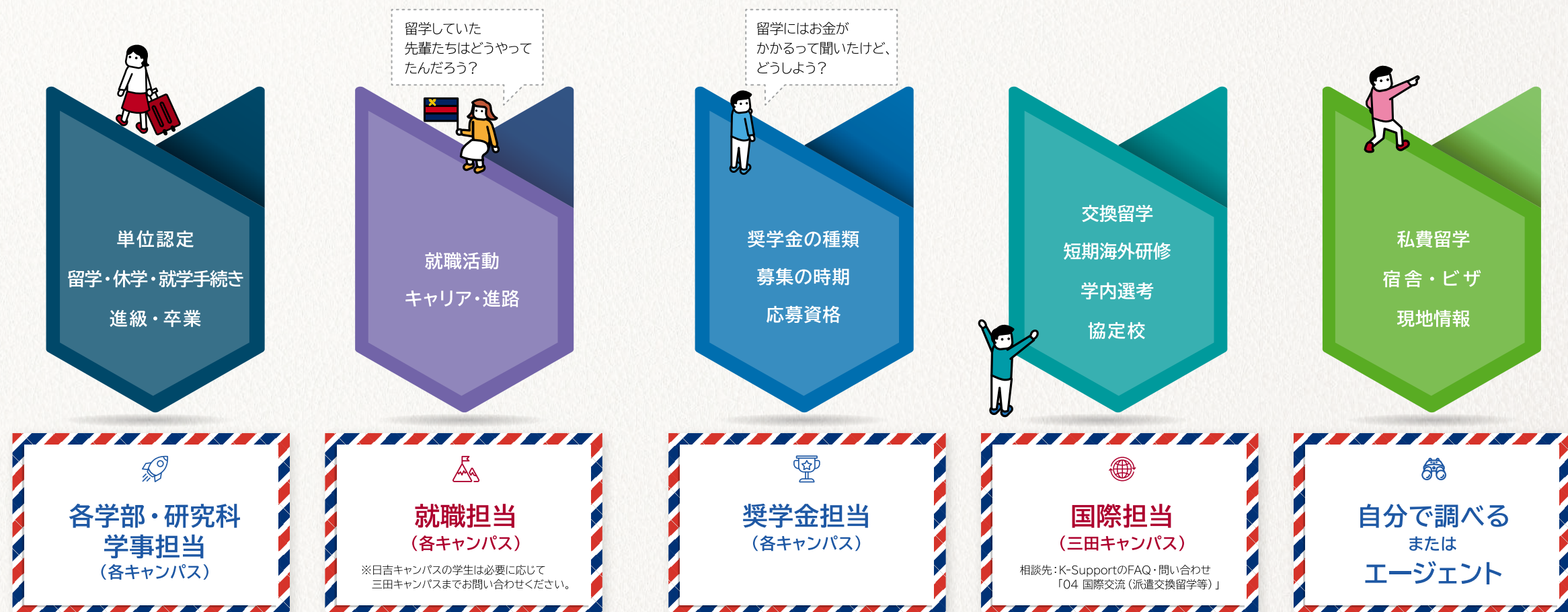
卒業
GOAL!

留学へ
GO!



留学についての 学内相談窓口

留学に関わる相談先はたくさんあります!
あらかじめご自身でも調べたうえで具体的
な疑問点を伝えるようにしましょう。





Go! GLOBAL

今からできる留学準備・国際交流

慶應義塾大学への
受入留学生数

2025年
5月1日現在数

2,196人



参加者の声

教室には国際的な雰囲気で、とても刺激を受けることができた。自分のことをよく考え、これからどのように他者を理解すべきか考えるよい機会だった。

国際センター講座

日本や東アジア・東南アジアをテーマとして、英語で授業が行われます。講義だけでなく、グループワークを行う科目も多く、海外からの留学生と交流しながら共に学ぶことができます。これから留学することを考えている方、留学から帰ってきた方、多様な価値観に触れて広い視野を養いたい方などにおすすめです。

参加者の声

留学生との交流を通じて各国の新たな一面に気づくことができた。

慶應義塾大学国際センター塾生機構 KOSMIC

国際センターと連携し、留学生支援、国際交流イベントの企画、大学公式イベントの開催など、新しく日本に来てくれた留学生が一日でも早く慣れて楽しく過ごせるように、多岐にわたる支援・活動を行っている学生組織です。



※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのWebサイトでご確認ください。

慶應義塾大学短期日本学講座 KJSP

春休みに留学生と塾生が共に学ぶ短期プログラムです。日本の文化・ビジネス・経済・社会等に関する講義やアクティビティを海外の協定校等からの学生と一緒に、すべて英語で受講します。日本にしながら英語漬けの2週間を送ることができます。



参加者の声

留学生との接し方も学ぶことができ、留学準備のよい機会となった。



Go! GLOBAL

留学にもいろいろ。自分にあうプログラムはどのタイプ？

夏休み・春休みを
利用した

国際センター 短期プログラム



夏休みや春休み期間中に、2～4週間程度で実施しているプログラムです。プログラム毎のテーマに沿って、英語によるディスカッションなど、質の高い授業が盛り込まれ、現地の大学で学ぶ雰囲気を体験できるのが魅力です。将来長期の留学を考えている人にもおすすめです。



ウィリアム・アンド・メアリー大学

夏季講座
8月上旬

テーマ：米国の歴史・社会、日米比較

全米でハーバード大学に次ぐ歴史を誇り、トマス・ジェファークソンらを輩出した東部の名門大学で、米国文化について幅広く学びます。グループワークやワシントンD.C.へのフィールドトリップ、数多くの現地学生との交流機会もあります。

辛いことやきついスケジュールを乗り越えたからこそ友人もでき、最高の夏休みに。



現地学生との関係が密で、アメリカ文化を肌で感じられる。



パリ政治学院

春季講座
2月中旬

テーマ：EUの政治・経済・社会・文化(使用言語:英語)

名門パリ政治学院で、EUの政治・経済・社会・文化、およびEUと諸外国との国際関係について学びます。授業は英語で行われますが、フランス語を学ぶ機会もあります。EU関連機関の見学などのフィールドワークも組み込まれています。

花の都での生活は観光はもちろん、自炊や、友人との談話、どの瞬間を切り取っても美しく、一生忘れない経験になる。



参加者のレベルが高く、他大の人とも交流できるので、自分が成長できるチャンスがある。



ケンブリッジ大学 ダウニング・コレッジ

夏季講座
8月上旬

テーマ：科学、国際関係論、国際ビジネス、現代美術、美術史(いずれか1つ)

前半は英語の集中研修、後半は複数の中からテーマを1つ選択して学びます。自分の専攻分野を越えて、知識を広げることも可能です。ケンブリッジ大学の学生がTA (Teaching Assistant) として同じ寮に宿泊しながら講座をサポートします。

世界トップクラスの学生の生活、考え方、実態を身近に感じられる。



学部学年キャンパス問わずさまざまな友達ができる。



エセックス大学 2025年度新規開講

春季講座
2月下旬

テーマ：英国の社会・文化

社会科学・政治・言語学等の分野で高い評価を受けているエセックス大学で、英国の社会や文化について学びます。インタラクティブな講義やアクティビティを通じて少人数で学ぶことができ、初めて海外に行く学生をはじめ、海外生活体験をしたい方、英語によるコミュニケーション能力向上を期待する方などに最適な講座です。

ロンドンからほど近く、英国の中で最も古い町のひとつであるコルチェスターで暮らしながら英国の歴史・文化を体験できる。



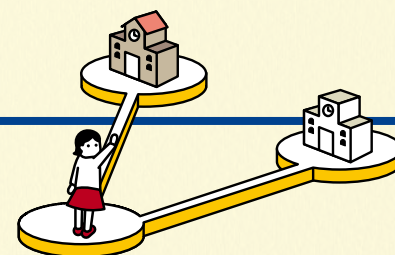
少人数で密度の高い2週間を過ごすことができる。

※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのWebサイトでご確認ください。



各学部・研究科主催プログラム

各学部・研究科でも独自に国際交流プログラムを主催しています。詳細については、各学部・研究科のWebサイトをご確認ください。



慶應義塾大学の協定校
派遣交換留学



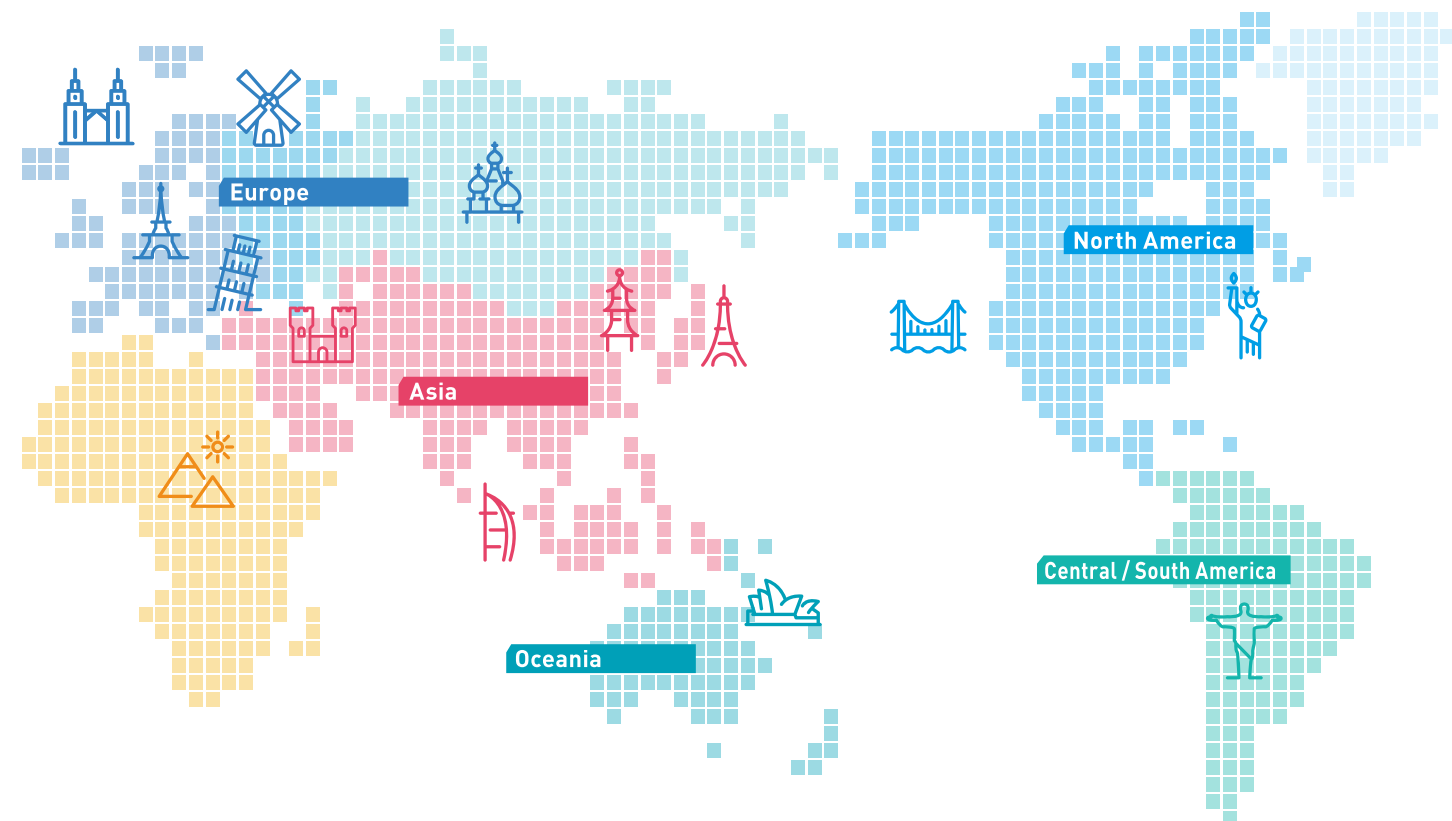
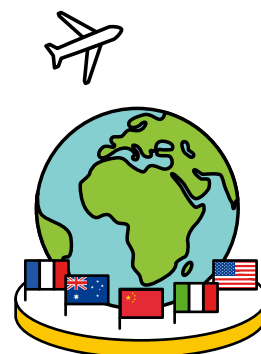
選択肢は、世界中にある。

慶應義塾大学が海外の大学と締結した全学レベルの
学生交換協定に基づき実施する留学プログラムです。
1 学年間、世界トップレベルの協定校で大学生活が体験できます。
留学中に修得した単位が卒業・課程の修了に
必要な単位として認定されることがあります。(※)

(※)所属する学部・研究科により扱いが異なりますので、必ず所属学部・研究科の学事担当
にて詳細を確認してください。

留学のための奨学金情報はこちら

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/guide/scholarship.html



Europe / Middle East

Austria

- WU (Vienna University of Economics and Business)

Belgium

- Universiteit Antwerpen

Denmark

- Aarhus University

Finland

- University of Helsinki

France

- École normale supérieure (ENS)
- EDHEC Business School
- ESSEC Business School
- HEC Paris
- INALCO
- Sciences Po
- Université Côte d'Azur
- Université de Strasbourg
- Université Jean Moulin Lyon 3
- Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne
- Université Paris Cité
- Université Sorbonne Nouvelle
- Université Toulouse Capitole

Germany

- Freie Universität Berlin
- Heinrich Heine University Düsseldorf
- Martin Luther University Halle-Wittenberg
- RWTH Aachen University
- Saarland University
- Technische Universität Darmstadt (TU Darmstadt)
- Technische Universität München (TUM)
- TU Dresden
- University of Bonn
- University of Cologne
- University of Siegen
- WHU - Otto Beisheim School of Management

Greece

- National and Kapodistrian University of Athens

Hungary

- University of Pécs

Ireland

- University College Dublin

Italy

- Ca' Foscari University of Venice
- "L'Orientale" University of Naples
- Sapienza Università di Roma
- Università Bocconi
- Università degli Studi di Milano
- University of Pavia

Netherlands

- Erasmus University Rotterdam
- Leiden University
- University of Amsterdam
- VU Amsterdam

Norway

- University of Bergen
- University of Oslo

Poland

- University of Warsaw

Russia

- Far Eastern Federal University
- Lomonosov Moscow State University
- Saint Petersburg State University

Spain

- ESADE Business School
- Pompeu Fabra University (UPF)
- Universidad de Salamanca (USAL)
- Universitat Autònoma de Barcelona (UAB)
- University of Navarra

Sweden

- KTH
- Lund University
- Örebro University
- University of Gothenburg
- Uppsala University

Switzerland

- University of Bern
- University of Geneva (UNIGE)
- University of Lausanne (UNIL)
- University of St.Gallen
- University of Zurich

Turkey

- Boğaziçi University

United Kingdom

- Cardiff University
- Durham University
- King's College London
- Royal Holloway, University of London
- SOAS University of London
- The University of Edinburgh
- The University of Manchester
- The University of Sheffield
- The University of Warwick
- University of Birmingham
- University of Glasgow
- University of Southampton
- University of St Andrews
- University of York (UK)

Asia

China

- Beijing Foreign Studies University
- Beijing Normal University
- City University of Hong Kong
- Fudan University
- Jilin University
- Nanjing University
- Nankai University
- Peking University
- Renmin University of China
- Shanghai Jiao Tong University
- The Chinese University of Hong Kong
- The University of Hong Kong
- Tsinghua University
- University of Macau
- Xi'an Jiaotong University
- Zhejiang University

Indonesia

- Universitas Indonesia

Oceania

Australia

- The Australian National University
- The University of Melbourne
- The University of New South Wales
- The University of Queensland
- The University of Sydney

New Zealand

- The University of Auckland
- University of Otago

Korea

- Ewha Womans University
- Korea University
- Pusan National University
- Seoul National University
- Yonsei University

Malaysia

- Universiti Malaya

Philippines

- University of the Philippines

Singapore

- National University of Singapore
- Singapore Management University
- Singapore University of Technology and Design

Taiwan

- National Chengchi University
- National Cheng Kung University
- National Taiwan University

Thailand

- Chulalongkorn University

Viet Nam

- Foreign Trade University

Central / South America

Argentina

- Universidad Torcuato Di Tella

Mexico

- Tecnológico de Monterrey

North America

Canada

- Concordia University
- McGill University
- Queen's University
- Simon Fraser University
- The University of British Columbia
- Université de Montréal
- University of Calgary
- University of Toronto
- York University (Canada)

United States

- Allegheny College
- American University
- Boston University
- Brandeis University
- Brown University
- Bryn Mawr College
- Carnegie Mellon University
- Dartmouth College
- Georgetown University
- Illinois Wesleyan University
- Manhattanville University
- Rice University
- The College of William & Mary
- The University of North Carolina at Chapel Hill
- University of California Education Abroad Program
- University of Hawai'i at Mānoa
- University of Illinois at Urbana-Champaign
- University of Maryland, College Park
- University of Notre Dame
- University of Pennsylvania
- University of Washington
- University of Wisconsin-Madison
- Western Michigan University

As of 2026

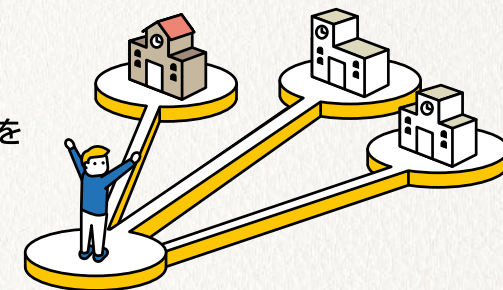
わたしの留学 体験記



その他の留学報告書はこちら
https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/report/report_f.html



実際に留学を経験した先輩たちの等身大の言葉です。
 留学経験者だからこそ語れる、現地の学校や留学先での生活などを
 経験者の言葉から感じとり、留学への参考にしてください。



派遣交換留学 2年生のとき

ロンドン大学東洋アフリカ学院
(英国)

経済学部 強口 慧一郎

留学前の経験をきっかけに開発経済学に興味を持ち、同分野を学ぶ、また近隣諸国へのアクセスが容易という点から同大学を選択しました。SOASはその特性上、留学生が多く、また自分の意見を強く持っている人が多く、文化や考え方の異なる人々と本音で関わる経験を通じて、自分とは異なる価値観を否定せずに受け止める姿勢が身につきました。授業だけでなく、課外活動や生活を通じて多くの友人と深く交流し、日本にいたら出会えなかったような視点に触れたことで、自分の考え方もより柔軟になったと感じています。将来のキャリアやその選択に役立つこのような考え方を身につけられることも、交換留学の大きな魅力だと感じています。



派遣交換留学 2年生のとき

国立台湾大学 (台湾)

就職先 米系法人金融

文学部 田巻 柚乃

アジアで初めて同性婚が法制化された台湾でジェンダー論について学びたいと思い留学を決めました。台湾大学は豊かな自然と中心地ならではの都会的な雰囲気を併せ持つ場所で、世界各国からの留学生とともに英語と中国語が入り交じる生活を送っていました。日本統治時代や戒厳令下を生きた人々、台湾原住民の方々と交流は貴重な経験で、日本の歴史や政治について新たな視点を得ることができました。多様な生き方の人々と出会ったことで、自身の将来の可能性も広がったと感じます。



派遣交換留学 3年生のとき

ナバラ大学 (スペイン)

就職先 米系法人金融

法学部 大滝 怜奈

6年続けたスペイン語学習の集大成として、EU法規制や移民政策の専門的な授業があるナバラ大学を選びました。留学中に参加した模擬国連では、国際政治だけでなく価値観やキャリア像を多様な学生と共有し、交渉力が国籍を超えて通用することを実感する経験を得ることができました。この体験やビジネスの授業で得た視野は、金融業界でのキャリア選択に大きな自信を与えてくれたと思います。



派遣交換留学 2年生のとき

オーストラリア国立大学
(オーストラリア)

商学部 カ武 駿人

私は多文化共生が進むオーストラリアに魅力を感じ、交換留学を決めました。異なる背景を持つ人々と学び、交流する中で「自分の常識を疑う視点」と「多様な価値観の重要性」を実感しました。留学は語学力だけでなく、本当に視野を広げてくれる経験です。この経験を通じて、国境を越えて価値を生み出す仕事になりたいという思いが強くなりました。迷っている方がいたら、ぜひ一歩踏み出して挑戦してみてください。きっと想像以上に、自分の世界が広がるはずです。





Summer Program

国際センター主催 短期海外研修プログラム

慶應義塾大学国際センターは休校期間中に参加できる短期海外研修プログラムを開催しています。英語による講義やディスカッション等、多彩な活動を通して現地の名門校で学ぶことができます。さまざまな異文化交流を体験することで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。質の高い充実した内容が盛り込まれており、海外生活体験をしたい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとって、

ふさわしい講座といえるでしょう。

詳細は国際センターWebをご覧ください。

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/short_prog/summer_prog_index.html



ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

研修日程：8月4日（火）～8月18日（火）（8月19日（水）帰国） 約2週間

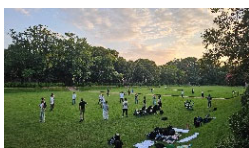
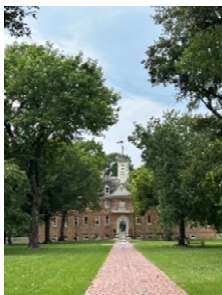
- ✓ アメリカ東部の歴史ある名門校で日米比較とアメリカ文化について幅広く学ぶ
- ✓ グループワークや様々なアクティビティを通して現地の学生と数多く交流できる
- ✓ アメリカの首都・ワシントンD.C.へのフィールドトリップを経験できる



「将来グローバルなキャリアや交換留学を考えている人は勿論、そもそもやりたい事が漠然としていないこそ、是非！一生忘れられない夏休みになります。」

「全米でも屈指の名門校で歴史のある素晴らしい学校です。アメリカ留学はどのようなものかを少しでも肌で感じたい方は、このプログラムに是非応募してください！」

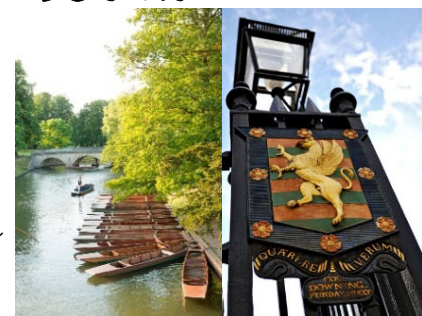
「ウィリアム・アンド・メアリー大学の皆さんは、本当に優しくて明るくて、一緒に時を過ごすことが幸せでした。現地の皆さんのおかげで自分の英語のコミュニケーション能力を上達させることが出来ました。英語でのコミュニケーション能力を向上させたい方、アメリカでの生活を経験してみたい方は、ぜひ参加してみてください！」-過去参加学生の声より抜粋



ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座

研修日程：8月8日（土）～9月5日（土）（9月6日（日）帰国）約4週間

- ✓ 世界的名門校ケンブリッジ大学での短期留学
- ✓ 英語と希望の専門分野をバランス良く学ぶ
- ✓ イギリスの伝統や文化を体感できる



「ケンブリッジ大学で勉強するという、この先の人生で二度とできないであろう経験」

「食事付きなので、一人暮らしの経験がなくても安心して参加でき、寮生活によりケンブリッジ大生と同じような暮らしを体験できる。ディベートやプレゼンテーションを通してアカデミックな内容の英語を話す機会が多い。」

「海外に住み・そこで勉強をする、という経験は何にも変え難いし、自分に新たな選択肢を与えてくれると思う。将来的に長期留学をしたい、または海外で何らかの活動をしたい（海外勤務や海外移住等）と考えている人におすすめ。」-過去参加学生の声より抜粋

応募期間：4月3日（金）午前10時～4月21日（火）午前10時



- ・ 学内で選考を行い合格者のみが参加できるプログラムです。
- ・ 本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。
- ・ 奨学金支給対象プログラムです。※必ず受給ができるものとは限りません。

学生部国際交流支援グループ短期海外研修プログラム担当 Mail: ic-zaigai@adst.keio.ac.jp





短期海外研修プログラム夏季講座

詳細

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/short_prog/summer_prog_index.html

	ウィリアム・アンド・メアリー大学	ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ
所在地	米国 ウィリアム・アンド・メアリー大学近隣のホテル泊	英国 ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ内の学生寮泊
研修日程	2026年8月4日（火）－8月18日（火） （日本出発：8月4日（火）、日本到着：8月19日（水）） ※本学指定フライトへの搭乗が必須です（添乗員無・引率無）。	2026年8月8日（土）－9月5日（土） （日本出発：8月8日（土）、日本到着：9月6日（日）） ※本学指定フライトへの搭乗が必須です（添乗員無・引率無）。
参加費用概算	1) 研修費用：約80万円 2) 海外旅行保険および危機管理サポート費用（大学指定）：約1～2万円程度 3) 渡航費：約40万円 ※費用は為替・燃油サーチャージの変動によって変わるため、確定額は合格者に後日お知らせします。	1) 研修費用：約120万円 2) 海外旅行保険および危機管理サポート費用（大学指定）：約1～2万円程度 3) 渡航費：約60万円 ※費用は為替・燃油サーチャージの変動によって変わるため、確定額は合格者に後日お知らせします。
概要	教育・研究で高い評価を得ている州立大学です。米国ではハーバード大学に次いで古い歴史を誇っており、独立宣言の草案を書き、後に米国の大統領となったトーマス・ジェファソンら3名の大統領を輩出しました。グループワークのほか、米国の歴史・政治・文化に関する講義、その内容について意見交換するディスカッション、講義に沿ったフィールドワークやショートエッセイライティング、そして首都ワシントンD.C.へのフィールドトリップなどを通して、米国文化について幅広く学ぶことができます。グループワークでは、塾生とウィリアム・アンド・メアリー大生で小グループに分かれ、各グループで決めたトピックについて日米比較を行い、最後にプレゼンテーションを行います。また、グループワークに加わるウィリアム・アンド・メアリー大生のほか、大学院生がディレクターやインストラクターを務めるなど、同世代の米国人大学生・大学院生とも深く交流できる点が大きな特徴です。	世界有数の名門校であるケンブリッジ大学のダウニング・コレッジと慶應義塾大学は、長きに亘り交流を深めています。英語研修、専門科目の講義、SDGsに関するワークショップで学びます。英語集中研修では、アイスブレイクとしてのドラマワークショップ、講義・ディスカッション形式の授業や、プレゼンテーションの方法やノートの取り方を実践形式で学べる授業を受けます。専門科目の講義では、International Relations、International Management、Healthcare and Biotechnology、Contemporary Art、History of Artの5つのStrandから1つを選び、参加学生は知識の幅をより広げることがができます。ケンブリッジ大学の学生がTeaching Assistantとして同じ寮に宿泊しながら講座をサポートします。ダウニング・コレッジ内での寮生活やケンブリッジ大生が企画する様々な活動に積極的に参加することで、幅広い異文化交流を体験することができます。
	The Keio University/College of William and Mary Cross-Cultural Collaboration (CCC) is a unique opportunity for both American and Japanese students to explore the construction, transformation, and expression of cultural and national identity through a variety of intellectual exercises. The main objective of the 2026 program will be to explore the cultures we encounter in our everyday experiences, our histories, and our relationships. Thinking deeply about the sites where cultures come together and diverge provides a starting point from which to investigate specific traditions, diverse groups, and cultural texts. We can view cultural forms such as film, television, music, literature, art, business and advertising as important mapping tools that societies use to understand themselves and the world around them. Through lectures, field trips, discussions, and research, students will explore the different nationalities, cultures, and ethnic groups that compose American and Japanese national cultures. By examining topics such as race, ethnicity, nationality, class, gender, historical interpretation, education, religion, and geography, students can begin to analyze how different groups and peoples interact and influence one another while constructing a large society and culture. Students may choose from a variety of research topics that focus on one or two cultural forms they find interesting. This will allow the students to apply what they have learned throughout the program to their research while conducting a close reading of their selected cultural texts. After selecting a topic, students will begin research in the spirit of cross-cultural collaboration, with help from the CCC staff. Through a combination of research and analysis of a variety of Japanese and American cultural texts, students will compare how Japan, America, and their respective national cultures influence the lives of their citizens, and how citizens influence the cultures of each nation.	MESSAGE FROM SUMMER PROGRAMME COORDINATOR The programme has been designed to broaden your perspective against the backdrop of global challenges, modern culture, and philosophy. Interdisciplinary learning is at the summer school's core. We are offering more course strands for you to choose from and organising an extensive number of extracurricular activities to get involved with. My aim for the Summer Programme is for you to engage with subjects that interest you (but have not necessarily been studying them at university); learn from experts in the field (Cambridge academics or industry professionals); discuss and debate ideas with other curious individuals participating on the programme; and immerse yourself in the 'Cambridge experience' (living in college, attending formal hall, punting along the River Cam) ... or to put simply, 'learn like a legend, live like a local'. I hope you can join us and broaden your perspectives at Downing College for an exciting and unforgettable summer. Downing College is a unique academic community: diverse, close-knit and committed. The College's purpose is to provide a world-class education to the students with the most potential in each subject, whatever their means or social background.
英語能力基準	TOEFL iBT45、TOEFL PBT/ITP 450、IELTS 5.0、TOEIC（IP含まない）450、英検2級、G-TELP（Level 2）190点 ※上記の基準点の内、1つでも満たしていれば講座に応募できます。新「バンドスコア方式」TOEFLも受付可。（スコア（コピー）提出必須）	
必要書類	所定の申込書、語学能力証明書コピーのほか、最新の学業成績表または出身高等学校発行の調査書（新入生の場合）が必要です。	
応募	受付締切：2026年4月21日（火） 午前10時	
単位取得	4単位（2026年度秋学期科目） 本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。履修単位の取り扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。なお、本講座の成績評価は、P（合格）/F（不合格）となります。 ※2026年度秋学期設置科目として認定されるため、2026年9月卒業の場合は単位取得はできません。ご注意ください。	
奨学金	「慶應義塾創立150年記念奨学金海外学習支援」「慶應義塾維持会国際交流奨学金」「太陽生命国際交流奨学金」「イントラックス国際交流奨学金短期海外研修対象特別奨学制度」対象講座 https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/short_prog/summer/summer_prog_scholarship.html	